広報にいつ
発行所　新潟市役所
発行人　新潟市役所市長公室
電話代表250番
印刷所　坂川印刷工業
毎月一回発行

人口動態
（昭和37年6月末日現在）
人口　57,014
世帯数　11,049
（6月中）
出生　60　死亡　25
婚姻　40　離婚　26
転入　146　転出　267

水稲成育状態順調

穂肥には十分注意

本年の水稲は現在のところ、田植時の天候が良かったため、活着よく成育も順調に進んでいます。六月下旬より七月始めにかけて、低温多眼の天候となり、平年より短かく、分けつは多くなっております。

こんごの管理として、穂肥を施用する場合十分注意する必要があります。特に乳熟過剰の水稲については穂肥の批を少なくして下さい。早生種の幼穂形成時期は、平年より一～二日遅れる見込みであるので穂肥施用については、穂を十分調査してからの施用が望ましいです。

昨年の倉庫被害による減収を今年は是非とも取り戻したいものです。このご管理には一層の注意をして下さい。

裏作に雪下かんらん

価格安定制度できる

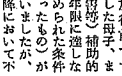
昭和三十七年より新潟県蔬菜物価格安定制度が発足され、さしあたって「蟹下かんらん」をその対象作物とすることになりました。

この価格安定制度は、去五カ年の平均市場価格を下回ったとき、その平均市場価格の七十％の価格（補償額）と市場価格との差に、別に定める率を掛ける額を補償するものであり、適用条件等及び関係農協とで組織する「かんらん生産出荷組合」を結成して、積極的に種子のあっせん、部落別栽培指導会の開催などを実施して来ましたが、本県の自然的条件に適合したこの特産物を新しく生み出すためには、消費市場に対し、大量良質の生産物を、しかも継続的に送り出すことが絶対条件であります。

この制度の適用を受けるため関係農協並びに蟹蔬菜販売共同販売組合「かんらん組合」等育成強化することや、出荷奨金の負担方法等について協議して出荷する。

交通安全パレード

交通安全県民宣言した、十日、市内各小中学校の鼓笛隊ブラスバンド、部落会等百名の亜を始め関係者が多数参加して交通事故ゼロの決意を新たにして市中を行進しました。



パレード終って万才三唱

松坂市内流しにはみんなで踊りましょう

出征期を前に青年作は順調

昭和三十七年七月十日、市内各小中学校の鼓笛隊ブラスバンド、部落会等百名の亜を始め関係者が多数参加して交通事故ゼロの決意を新たにして市中を行進しました。

国民年金　諸届けはお早く

拠出年金の給付始まる

△保険料の免除
経済的の理由などで国民年金保険料の免除を受けた人は、至急手続きをして下さい。

保険料を免除を受けて、被保険者として、の資格があり、もし事故があった場合だけに母子、障害、遺児等の年金を受けることができます。

免除は毎年行なうものの、その年度内において手続きをした月間の検認は毎月（七月、十月、一月、四月）から行なわれます。もし、それぞれの月だけ免除の期間がないことになります。

△ありがたい年金
満二十才に達した人、または、それ以前に障害を受けた人はその月中に資格取得日、受給権を取って下さい。

△年金の受けかた
年金（制度施行前すでに失が死亡した母子、または身体障害等の補助的な権利を守るために義務を守るために義務）の受給者は、毎年の年金受給権者は、毎年の年金受給者は、毎年の年金受給者は、毎年五月以降に、まとめてその状態になったものは、毎年の年金受給者は、毎年の年金受給者は、毎年の年金受給者は